

小麦子実タンパク質含量を向上する葉面散布の効果

福島県農業総合センター 作物園芸部畑作科

1 部門名

普通畑作物—小麦—作物栄養、施肥法、品質・食味

2 担当者

二瓶直登・円谷聡・丹治克男

3 要旨

パンや中華麺に用いられる小麦「ゆきちから」は、タンパク質含量が低く加工適性が安定しないことから、加工適性を向上する栽培法が求められている。ここでは出穂期に尿素を用いた葉面散布が、子実タンパク質含量に対する効果を検討した。

- (1) 葉面散布は、窒素0.15kg/a(尿素3%液10L/a)を穂揃期と穂揃期後7日の2回と、窒素0.3kg/a(尿素6%液10L/a)を穂揃期の1回散布で実施した。
- (2) 葉面散布は、子実タンパク質含量の向上において、表面散布と同等からやや高い効果があった。
- (3) 一回に窒素0.3kg/aを葉面散布すると、付着した葉に褐点や葉先枯れ症状がみられたが、収量・品質に影響はみられなかった。

表1 耕種概要

No.	区名	表面追肥 kg/a		葉面散布 kg/a		散布方法	使用肥料	供試品種はゆきちから 基肥窒素0、0.5、1.0kg/aでNo.1~3区を実施 No.4区は基肥窒素1.0kg/aのみ実施 葉面散布は、0.15kg/aが尿素3%液10L/a、 0.3kg/aが尿素6%液10L/a散布
		穂揃期	穂揃後7日	穂揃期	穂揃後7日			
1	無追肥	0.0				-	-	
2	表面	0.3				表面	硫安	
3	葉面			0.15	0.15	葉面	尿素	
4	葉面2			0.3		葉面	尿素	

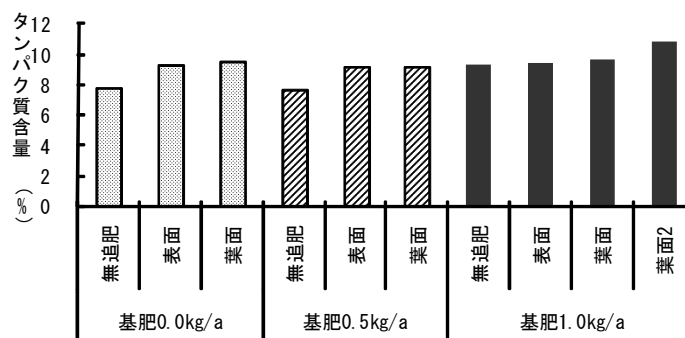


図1 基肥と出穂期窒素追肥別の子実タンパク質含量

4 主な参考文献・資料

- (1) 平成18年近畿中国四国農業研究成果情報小麦「ニシノカオリ」における赤かび病防除同時尿素葉面散布による開花期追肥